

はじめに

本冊子は『CSR報告書2006』の別冊として制作いたしました。

当社は、お客さまとの確かな「絆」を深めるために、2005年12月より「きずな再確認運動」を全社で展開するなど、生命保険の原点に立ち返って、誠心誠意安心をお届けする会社に生まれ変わろうとしています。

その姿勢を、「経営理念」「企業ビジョン」「行動規範」を改定することでお客さまにお約束するとともに、このたび制定した「CSR経営宣言」を通じて、役職員一人ひとりの具体的な行動として実現していきたいと考えています。

会社はさまざまな立場で働く人間の集まりです。その一人ひとりが、CSRの本質を考え、いま一度、お客さまと誠実に向き合う強い決意を持つことが「CSR経営宣言」の遂行には不可欠です。

本冊子には、全国の役職員ならびに社外からの声を数多く掲載しました。その声は、私たち一人ひとりの行動を変えていく力となり、明治安田生命再生の原動力となるはずです。

本冊子をお読みいただき、再生に向けた取組みを続ける会社の強い決意と、社内外の声に込められた思いを汲み取り、会社の明日に期待し、行動を起こしていただけることを願っています。

「お客さまを大切にする会社」の実現こそ、当社のめざす会社像です。全役職員が、この共通認識のもと、たゆまぬ努力を続けていけば、社会から確かな信頼を得られる日も近いと信じています。

明治安田生命保険相互会社
取締役会長 代表執行役

関口 憲一



なぜ誠実であるべきなのか

保険という商品は、かたちをもちません。
それは、人の一生に寄り添い
人と人をつなぐ、未来へのよすが。
かたちを超えた果てしない思いと時間が
託されているのです。

それは、お客さまの思いであり、時間です。

まず、お客さまの立場に立って考える。
そして、誠心誠意をもって、最後まで安心をお届けする。
これは、生命保険事業に従事するものの務めであり、
約束なのです。

私たちは、託された使命を理解し、
職務を誠実に遂行しているでしょうか。
お客さまから、信頼をいただいているでしょうか。
まだ、道の途中にあるのではないのでしょうか。

さまざまな業務で、さまざまな出会いがあります。
一人ひとりが発する言葉や振る舞いから
お客さまは、私たちが信頼に足るか否かを
判断しています。

この会社を集うすべての人材が
お客さまの視点で考え、努力し、前進できるように。
原点を忘れないための手引きとして
本冊子をお届けします。